

### 監査委員の決算審査意見

本村の人口は減少しており、村の活性化や税源確保の面から大きな問題。定住化促進、子育て支援の充実など、住みよいまちづくりを目指し、これまで以上の取り組みを。

監査委員 荒木昭雄  
監査委員 椎名利夫

平成 28 年 7 月 29 日、8 月 1 日、2 日、4 日の 4 日間審査を行いました。

#### 《審査の結果と意見》

各会計の決算は適法、正確に処理されており、計数的にも正確で、内容も適正なものと認めました。

① 今後も、厳しい財政運営を強いられると見込まれるので、平成 27 年度に策定した「美浦村財政改革計画」を基本に、全職員が現状の理解と危機感の共有をすることが大事です。  
② 滞納対策については、「美

浦村収納対策推進委員会」を随時開催し、全庁的な取り組みにより、収入未済額の縮減に努めてください。

③ 国民健康保険税の収入未済額、不能欠損額は前年より減少しておりますが、一般会計から繰り入れている状況を鑑みれば、収入未済額の縮減に努めてください。

④ 公共下水道事業特別会計の起債残高は年々積みあがっているため、加入率・接続率の向上と、分担金・使用料の収入未済額の増加や不能欠損が生じないよう努め、更なる運営改善を図ってください。

⑤ 介護保険特別会計の、地域包括支援センターには、より幅広く魅力ある事業内容、多くの方が参加できる仕組み作りの検討などをお願いいたします。

⑥ 水道事業会計では、設備の経年劣化を鑑みれば、老朽施設の更新計画も検討する時期だと考えます。

⑦ 電気事業会計では、利益を計上することができ、住民への補助金のほか、一般会計への繰出し金を計上できた等上々のスタートとなりました。ただし、発電計画期間が 20 年と長期間にわたるので、引き続き施設や周囲の管理について万全を期してください。

#### 決算審査特別委員会質疑

9 月 12 日・13 日の 2 日間開催した決算審査特別委員会の質疑を一部紹介します。

#### ふるさと応援寄付金の用途の指定について

**石川議員** ふるさと応援寄付金の用途の指定で多いものは。

**企画財政課長** 用途は 8 つの事業に指定できますが、多いものは、次世代育成事業に約 619 万円、村長が必要と認める事業に 574 万円、歴史遺産や自然環境の保全と活用に約 247 万円、地域活

性化に約 216 万円、「競走馬の里 美浦」の PR に約 213 万円となっております。

#### 美浦村物産館建設事業費の委託料は

**岡沢議員** 美浦村交流拠点物産館運営コンサル業務委託料とは。

**経済課長** 地域交流館の直売所に入れる什器等の備品のアドバイスや、今後の直売所の運営に関するアドバイスを受けるような業務となっております。

**岡沢議員** 小さな拠点形成業務委託料とは。

**経済課長** マッシュルームやパプリカ等の、本村地域農産物を活用した加工品の検討、地域交流拠点の総合的な事業計画・運営計画、地域ポータルサイトを含めた、実証及び検証を行いました。